

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム丸の内はとぼっぼ

(ユニット名) 青鳩

記入者(管理者) 氏名 清水 素美子

評価完了日 平成 19 年 5 月 31 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			不十分である		ご近所づきあいを活発にし、自由に交流できる関係作りをしたい。
			(外部評価)		
			事業所の基本理念をユニットごとに分かりやすく「ユニットの理念」として、掲げておられる。利用者が、地域の方と関わりながら生活できるようにと考えられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			"自分らしく暮したい"という理念を掲げその人らしさを失わないよう、意向を取り入れながら支援している。		
			(外部評価)		
			ユニットごとに、職員で意見を出し合っってユニットの理念を作っておられる。		さらに、今後、事業所全体で目指していくこと等について、管理者が日常的に話すような機会作りが期待される。管理者は、ミーティング時に職員で理念について確認することを、さらにすすめていかれようとしていた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議の参加者に地域の代表の方が少ない(市の中心地ではあるが住宅が少ないために交流の機会が少ない)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所的美容室にカットに行ったり、又来て頂いたり、散歩時には挨拶したりしているが、機会が少ないので多くしたい。		町内会や地域の施設等に対し取り組んでいきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会への参加、神社へのお参り、近くの商店街のイベントやお祭り行事など日程や時間を調べ参加できそうな催しには参加し、青果などの買い物にも利用者と共に出かけている。公民館の催し物の一つであるお手玉大会にも参加させていただいた。		機会があれば又職員の余裕があればどんどん参加したい。
			(外部評価) 事業所の前の道を掃除されたり、地域の回覧板で事業所の便りを回覧していただけるよう働きかけをされている。ホームで行う芋炊き会等、行事の案内をされている。		さらに、地域の行事等、地域の方と関わるような機会を活かして、その後も関係を深めていけるような取り組みが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ホームに面した歩道の清掃、草引きなど出来る方には一緒にしていただいている。歩道に面しているところの花壇を通行の方楽しんでいただけるように、水やりなど一緒にしていただいている。色々と話には出てくるがまだ積極的な取り組みが出来ていない。		まだ地域の方の認知症に対する理解が足りなく感じることもあるので、職員も勉強して、機会があれば地域に対して認知症や介護の勉強を共にしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価の折には日ごろの介護を見直し、外部評価の結果が来た時にはミーティングで報告し又回覧しているが、毎日の仕事に追われてあまり実施されていない。		自己評価・外部評価の機会に、日ごろの介護を振り返り、新たな目標を見出して努力していきたい。
			(外部評価) 職員個々で自己評価を行ない、ホーム長、管理者がまとめられた。職員は、自己評価作成後、さらに自立支援に向けて取組みたいと考えておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)		
			行事報告・意見交換を行いサービス向上に努めている が、なかなか意見を出してもらえないままには至っていない。		
			(外部評価)		
			日頃のホームの様子をお伝えしたり、外部研修受講後の 取り組み等をお話されている。現在、地域の方の出席 が少なめで、参加者からの意見についても少な目である。		今後、会議時、地域の方々に積極的に参加をいただく ための働きかけを工夫していきたいと考えておられた。 さらに、いろいろな立場からのご意見がいただける ような取り組みが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			機会が少ないので、担当の方に認知症介護に対する知識 や経験をお話を聞かせていただきたいと思っている。		
			(外部評価)		
			介護相談員の受け入れをされている。		今後、さらなる市との連携で介護相談員からの意見等 についても、事業所のさらなる質向上のために活かす ことができるよう、取り組まれることが期待される。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修には出来るだけ参加させていただき、テキスト報 告書などを持ち帰り、他の職員にも読んでもらっている。 今まで相談されたご家族には手持ちの資料を提供 したことがある。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修に参加して、虐待は体への暴力だけではなく、言葉・薬・外出させないなど色々あることを理解し、又 目に付くところへ掲示して確認しながら、虐待の無い ホームへと力を合わせ、職員もストレスをためないように 勤めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の際には出来るだけお話をさせていただき説明や又質問もさせていただいている。		ご家庭での生活の状態など詳しく情報を得られないことが多く、介護のヒントを得るまでには至っていないので、可能な方には入所前に訪問させていただきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 皆で利用者会議を開いたり意見を聞く機会を設け、必要と感じられた方には居室で個々に意見や不満・苦情を聞くようにしているが、まだ皆さんから聞いていない。		他の入居者との話の中で少し不満が聞こえてくるようになってきたが、直接ではないにしろ、聞こえてきているので、確認しながら改善していきたい。声に出てきたことをやっと言えだしたと解釈するようにしている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 訪問時報告したり、又遠方に居られるご家族には毎月報告させていただいていますし、必要な方にはそのつど連絡させていただいている。 (外部評価) ご家族に対して月1回、ご本人の様子を伝えるお手紙を出されている。ともにホームでの行事報告等を載せた「はとぼっぼ便り」も送付されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時挨拶の中で生活ぶりを報告したり、又話を聞かせていただいたり、報告時気が付かれたことを教えてくださいと伝えたり、意見箱を設置している。 (外部評価) ご家族の来訪時にご本人の暮らしぶりを伝えて、意見をいただけるよう働きかけを行なっておられる。現在は、ご家族からの意見や要望は少な目である。		もっと意見を聞かせていただき、より良い生活が出来るようにしていきたい。 事業所では、今後、ピアガーデンやいもたき会等の行事時の機会を捉え、事業所で取り組んでいることを知っていただきたいと考えておられる。そのようなことをきっかけにしながら、ご家族との関係性をさらに深めていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者会議・主任会議を開きまた問題が起きた時にはそのつどミーティングを開き皆で相談している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 週一度のミーティングを開くようにして、行事があるときは職員の数を増やし、時間帯も必要な時は協力を得られている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) どのぐらいの人数までなのかは分かりませんが、なじみになっている職員がいなくなったり変わったりすると不安になられるので、出来るだけ少なくすむようにしてもらっている。 (外部評価) 職員同士の親睦を深めて、何でも話し合えるような関係を作っておられる。開設時からおられる職員も多く、利用者との馴染みの関係が作られている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 計画的には出来ていないが、全国グループホーム協会の研修・愛媛県グループホーム協会の研修・地域での研修があれば自主的に受講してレポートにて他の職員とも共有している。姉妹ホーム同士の研修もし職員自身が振り返り、利用者への関わり方の見直しをした。 (外部評価) 感染症や口腔ケアについての研修で得た知識を実践につなげておられる。又、他事業所に研修に出向かれ、対応の仕方等を勉強されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 管理者や職員は地域の同業者との交流と勉強の機会があり共に勉強している。 (外部評価) 他事業所での勉強会に参加されたり、地域の他事業所4件が集まり、困難事例等について検討する等、事業所のさらなる質向上に向けて取り組まれている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 毎日の勤務や入居者・職員との人間関係からストレスが生じるが、職員同士で食事会をしたりお互いのストレスを軽減するようにしている。事業主の方でも、年に2回程度食事を計画してくれている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 管理者会議・主任会議を開き各職員を把握するように努め、また意見を参考にしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 見学に来られたときにお話をさせていただき、可能であれば入所が決まった方の訪問をさせていただき、お話を聞かせていただけるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 見学時話をさせていただき、入所希望されるご家族はその後訪問され詳しく話をさせていただくよう努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 自ホームでは共同生活をしていただいでいくことを説明して、もし無理なようであれば、他の施設も紹介するように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 納得されずに入所される方もあり、機会が少ないですが見学に来られた時などに一緒にお茶を飲んだり、また入居者とも話をしてもらい少しでもなじんでもらえるよう努力している。 (外部評価) ご自宅や病院から入居される方も多く、急な入居となるような場合もある。そのような時には、「ご本人がどのようにしたいのか」「不安はないか」ということを意識してかかわるようにされている。又、馴染みのものを身近に置かれたり、ご家族と電話でお話をする等、ご家族に協力していただきながら早く事業所に慣れていただけるよう工夫をされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の皆さんは人生経験豊富な方ばかりなので、また私たちの父母・祖父母・おじおばさんのように接し教えていただいたり、落ち込んだ時には慰めても頂いている。 (外部評価) 日々の生活の中で食材の調理方法や魚のさばき方、川柳等、個々の得意なことを教えてもらうような場面がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族には色々な立場や今までの関係があることも少しずつ教えていただきながら、御本人にとって何が一番うれしく幸せなところを見つけ出す努力をしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 少しずつではありますが、話す回を増やすことにより、関係の理解に努め、より良い関係が築けるよう努力している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの方で訪問してくださる方には来て頂き、希望されればこちらからも訪問させていただけるよう努力してい。なじみの美容室には出かけていただいている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 生活の中であまり職員の関わりを多くせず、利用者同士で協力し合い気づくよう見守り、利用者同士で解決できるよう支援するよう努力してい。配膳や後かたづけの時も声を掛け合っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 訪問時には皆で歓迎し、また行事などにも声かけして参加していただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>直接希望を聞いたり、利用者同士の会話の中から思いや希望をくみ取るように努めている。</p>		<p>利用者同士の会話の中には、職員に気遣い言えないことや、同年齢であるが為の共通の悩み等耳を傾けるべき内容も多々あると思える。</p>
			(外部評価)		
			<p>センター方式のアセスメントを使用しておられ、利用者ご本人の言葉をそのままに記録して背景を探っている。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>ご家族からの情報とご本人との会話の中から把握するように努めている。</p>		<p>介護の参考になるので、入居前にもっとたくさんの情報をいただきたい。</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>年齢や介護度を考慮し、まずは日常生活の全てを出来る前提として出来ないこと、無理だと思われることも、介助の仕方声かけでもしかして出来るかもしれないと考えるようにして、記録に目を通して職員一人ひとりが気付いたことを共有するよう努力している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>常に利用者の表情を見、またご家族にも相談に乗ってもらいながら作成している。</p>		
			(外部評価)		
			<p>利用者ご本人を中心として、職員やご家族、医療関係者の意見を踏まえながら、介護計画を作成しておられる。以前働いておられた職場の仲間からの情報を計画に反映したような事例もある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			御本人と話をしたり、その時の状況に応じてミーティングを開きいろんな意見を出し合い、計画するように努めている。		
			(外部評価)		
			基本的には6ヶ月ごとの見直しとされている。入居時や退院時等、状態に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別の記録があり、職員全員で共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者の状況に応じて対応できるよう努力をしています。ご家族が遠方の方には、連絡を取り合いながら支援するようにしている。		
			(外部評価)		
			近所の美容室に出かけられたり、入院時に事業所で洗濯物の管理をする場合もある。以前行っておられた川柳の会に再度、通っておられる方もおられた。ご本人やご家族の状態に応じて柔軟に対応をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 月一回の介護相談員の訪問、年に4回程度の学生ボランティア・幼稚園児の訪問もあるが、まだ不十分であり、少しずつ増やして行きたいと思う。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 子供さんの近くにとの利用者の希望に応じて入所される事業者との連絡を取り合い、安心して生活が出来るように支援している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 4月からだと思うが、来ていないので、これからしていきたいと思う。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所される前からのかかりつけ医に診てもらえるようご家族の協力の下に支援している。 (外部評価) 以前、大きな病気をさてくれた方等、かかっていた病院にご家族の同行で継続して受診されている。又、いざという時は、協力医療機関に相談されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 事業主は脳神経外科である。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が3名いて、状態が変わった時にはすぐホームドクターと連絡して健康管理に気をつけている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院されても早期退院可能な場合、病院関係者と相談しながら退院日を決めたり、お見舞いに行つて状態の把握をし受け入れ態勢を整えたりしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 話し合いは不十分である (外部評価) 看取りや重度化時について、必要時に事業所の対応等について話し合いを行う予定とされていた。		ご家族 主治医 職員で話し合い具体的な方針を決めて行きたいと思う。 さらに、利用者ご本人の希望やご家族の要望、事業所の方針等について話し合うような機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 話し合いは不十分である。		チーム全体で支援する準備をしていきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 少しでも新しい施設に慣れてもらえるよう情報交換に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者の情報は外部に流出しないように取り扱っている。また自分では気が付かないこともあるので、職員同士で気をつけながら指摘しあっている。		時には利用者と職員との関係でなく、家族同様な気持ちになった時に意見の衝突があるが、そのような時でも利用者の誇りを傷つけないような気配りをしていきたいと思う。
			(外部評価) 事業所外に持ち出す事業所便りについては、利用者の顔写真や名前を載せないようにされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者に十分に説明し 納得してもらっている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ご希望にそって支援している。		さらに、今後も利用者と職員の関わり方について「さりげないサポート」という点から話し合ってみてはどうだろうか。
			(外部評価) 利用者同士が関わるような場面を大切にされており、職員は、利用者と距離を持たれたり一緒に行く等されていた。ご夫婦で入居されている方は、ご主人のお世話をされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご希望があれば 洋服を買いにお連れし 理容美容も本人の望む所へお連れしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたいものがないか聞いたり、メニューを一緒に考えながら買い物に行ったり、調理に参加してもらい、配膳の手伝いや後かたづけなども一緒にしている。 (外部評価) ご自分の食器は、ご自身で下膳して洗ってもらえるよう、声かけをされていた。献立を利用者と一緒に考えたり、事業所に来てくれる魚屋さんに、職員とともに魚を買いに行く方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ホーム内火気厳禁なのでタバコ持込禁止である。飲み物に関しては利用者に選択してもらっている。コーヒー・紅茶・お茶・ココアまた温かいの・冷たいのなどの希望にもそうように希望を聞いている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 尿意のある方は排泄を見守り、トイレでの下着の下げるのを確認したり気を配っている。またオムツ使用の方にもトイレに座ってもらい排泄を促している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>入浴順をジャンケンで決めたり、途中でお湯を入れ替えをし皆が平等に楽しめるように支援している。職員の人数が少ない夜間帯に希望された場合には安全の為に一人で入れる方のみにもしてもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>温泉に出かける方もおられる。清拭のみのとされていた方がシャワー浴を行えるようになったような事例もある。入浴を嫌がるような方には、職員が声かけを工夫してすすめておられる。入浴の順番については、利用者で相談し「じゃんけん」で決める時もある。</p>		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の一日のリズムや体調を考慮し、必要以上に声かけをしないように気をつけながらも、常に横になって休まれることの無いようにしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの得意分野で自然に役割分担が出来てきている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お部屋の掃除をされたり、紙細工をされる方がおられ、居間等に作品のお人形を飾っておられた。</p>		生活の流れの全てに関わることが出来るよう、食事(メニュー作り・買い物・作ること・片付け)洗濯・掃除・身の回りのことを、自分のこととして利用者がうけとめて、入居者同士で声をかけ合い助け合っているように取り組みたい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>希望される利用者には職員が同行し買い物を楽しむ機会を設けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			自主的な散歩兼お参りや、ホームの買い物にも参加してもらっている。		
			(外部評価)		
			隣にある神社に利用者同士が誘い合わせて散歩に行かれたり、ご家族の方と外出されたり、時にはバスに乗って出かけるようなこともある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外食・ドライブ・ご家族参加のピヤガーデン・いも炊き・温泉への機会もつくっている。		希望があれば一泊どまりの温泉旅行にも行ってみたいと思っている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話を使える利用者には自由にかけていただいているし、また掛けたいと希望されれば、職員が呼び出したり、遠方に居られるご家族に手紙を書いたり、葉書を書いてみませんかなどの声かけをしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			日中の訪問時間は自由であり、21時以降は連絡してもらえれば施錠せず面会可能にしている。仕事の帰りに寄ってもらったり、リビングで、または居室で話してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 入所の際に運営者である医師が面接して、拘束の必要の無い利用者の為拘束をしたことがない。また全ての職員が拘束は命に関わる時意外は絶対してはいけないことと理解している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室やトイレで中から鍵を掛けない以外は21時に施錠するが、日中は鍵を掛けていない。 (外部評価) 玄関は施錠しておらず、利用者は麦わら帽子をかぶって出入りしておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在や様子を把握するようにし、安全の確認をし合うように努力している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 常に利用者の状態を把握するようにして、その方にとって危険となる物品を安全なところへ収納している。今のところ必要な方いないが、以前包丁・洗剤・漂白剤などを夜間の職員の少ない時間帯に全て収納して対応したこともある。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム協会の研修や各研修に出来るだけ参加するようにしてお一人おひとりに応じた対処の仕方が出来るように努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年に一度救命講習を職員全員で受けるようにしている。		救命講習も続けて受講し、利用者の急変について起こる可能性の高い病気などには、看護師と共に対処の仕方を学び必要な物もおき場所を決めて誰でもが対処できるようにしている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回消火・避難訓練を行っている。 (外部評価) 消防署の指導を得て居室のベッドの配置を変える等された。		さらに、夜間時や地域との協力体制の確保、いろいろな災害時の対応についても検討されることが期待される。今後の運営推進会議で話し合いをされたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) まだ不十分なのでご家族の方とも話し合っていかなければと思っている。ご家族の意向とご本人の意向に違いがある場合に特に困っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックと会話や行動を観察しながら、異常に感じた場合には、看護師と相談し必要があればホームドクターと連絡をとりあえるようになっている。また必要な方には入浴のときにも再チェックさせてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者毎の服薬のファイルを作り、どの職員もいつでも確認できるようになっている。新たな薬の服用の際は様子観察を重視している。		小さな気付きでも情報を交換し職員全てが把握するように努力する。飲み忘れ・薬の間違いが無いよう利用者によっては口に入れるまで見届けるよう気をつけている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) バランスのよい食事・水分摂取などを心がけ、利用者の排便のリズムを把握し、程よい運動・散歩・体操を働きかけするようにしている。		体を動かすことにも限界があるので、食事（繊維質の多いもの・水分量）に注意している。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後歯みがきの声かけをし、状態によっては介助し、清潔に保つようにして、夜には義歯を洗浄液につけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事以外にも水分接種のために10時・3時と夜間居室で取ってもらえるように蓋つきのマグカップに入れ飲んでもらっている。また御自分で飲まれない方には、出来るだけ日中に飲んでもらえるようにしている。カロリー計算は月一回するようにして、栄養士の方に見ていただき、助言していただくようにしている。		入居されてから太られた方も居られるので、ご家族と相談したり、ご本人とも話しあったりしながら、改善しようとしたが、他の入居者と比べられたり、もう少しくださいといわれるので、運動も少ない方に対する対処の仕方に困っている。
			(外部評価) 利用者の好み等も聴き取りながら献立作りをされている。食事中はテーブルの上に急須があり、台所のカウンターの上にもオーナージャグがあり、いつでもお茶を飲めるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インフルエンザの時期には体質的な問題のある人以外、利用者・職員全員予防接種を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 手洗いの徹底、まな板・布巾はハイター液に付け、食器類も乾燥機を使用し、食材も新しいものを使い、賞味期限を確認して、また購入した日を記入するようにしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関の外は石段とスロープがあり、楽しんでいただくこと、季節の花を植えるようにしているが、途中で枯れたりして困っている。</p>		<p>どなたか花に詳しい方に教えていただき、いつも花が咲いているホームにしたいと思っている。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 季節を感じてもらえるように季節ごとの飾りつけをしたり、手作りの作品を飾ったり、生活感を出そうとしているが、中には汚いとの意見も出たりしてまだ思うように出来ていない。光がまぶしい時にはカーテンを引き、外の騒音が大きい時には窓を閉めたりしている。</p> <p>(外部評価) 共用空間には、写真等やご家族からいただいた「あじさい」が飾られていた。利用者のご自宅から持ってきた鉢植えがベランダに置かれていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 日当たりの良い場所、風とうしの良い場所、見晴らしの良い場所にソファーや椅子を置き、利用者同士が自由に会話を楽しんだり、休んだり出来る場所を提供している。</p>		<p>日々の生活の中で、その時々合った家具の配置を考え、いろいろ試す中で利用者にとって一番良い居場所作りに工夫している。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 写真・お位牌・お仏壇・整理ダンスなど今まで使われていた物を持ってきていただき、自宅に帰られた時に少しずつ持ってこられたり好きに使っていただいている。 (外部評価) 居室は、それぞれの馴染みの物品を持ち込まれている。テレビや趣味の川柳を書いた短冊、子供さんの連絡先が記されたものも届いた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 清掃時の換気の徹底、エアコン使用時の冬場の換気加湿・夏場の除湿・空気入れ替えを定時に行なうようにして、温度調節は職員が気を配っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりを付け、バリアフリーにして、入浴時も滑らないようにと浴槽と入り口にマットを敷くようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 声かけにしても、パジャマが通用しない方には、寝間着と分かる言い方をしたり、言葉を簡潔にして理解してもらえる工夫をし、トイレ・洗面所・浴室などを分かりやすくして、利用者の状態を見守るよう努力している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の周りには危険な場所もあるが、洗濯を干したり、テーブルや椅子を用意して外気欲・日光浴を楽しんだり、お茶を飲んだり、おしゃべりを楽しんでもる。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者との会話の中で、思いや願いを出来るだけ汲み取るようにしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時・15時のお茶や散歩の後にひとやすみしながら、一緒に座って話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全て自由と言う訳にはいかないが、ある程度の決まりごと(時間帯等)があるけれど、その中で各利用者のペースを保ちながら暮らしています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が関わることで、生き生きとした表情を見せてくれる方と、見られない方がいる、全ての利用者の生き生きした表情を見れるように努力している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	どこかへ行きたいと言う意思のない方も居られるが、希望のある利用者については出来るだけお連れしている、また、自由に出かけられる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタル・チェックにより異常があると看護師と相談・判断し、必要があればホーム・ドクターである事業主に連絡している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来るだけ利用者の希望に沿えるようにしているが、全てではないと思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	便りのときには、気が付いたら申し出てくださいとお願いしたり、訪問時には希望を聞いたり・現在対応に困っていることなどを話して情報を得たりと、こちらから相談を持ちかけるようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	退所された方で、ご近所に一人で暮らしている方が2～3日に1度程度、来所され、利用者で交流している。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 ③あまり増えていない 4 全くいない	もっと積極的に働きかける必要性は分かっているが、日々の業務に追われ、運営推進会議を利用して地域住民とのつながりを広げるには至っていない。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ②職員の2/3くらいが 1 ほぼ全ての職員が 2 ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、自分の関わり方がまずかったのでは？もっと良い方法が別にあったのではと反省していますが、共に働く仲間同士、ストレス発散したり、意見交換をしながら働けている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ③利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自立支援ということで、してあげる介護を止めているが、利用者はそれをどう感じているのか、中にはしてもらいたいと思っている方も居るのでないだろうか？
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ③家族等の1/3くらいが 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 ③家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	不満の声も聞こえてこないが、満足の声も聞こえてこないで、1/3としましたが、元気になられて一人暮らしを始めた方も居ます。また、要支援 になられた利用者も居られるので、喜んでいるご家族もいらっしゃると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

出来る事は自分のこととして積極的に行なえるような働きかけを目標とし、出来る事が少しずつであるが増えてきています。日常生活の中で自分を必要とする場面、役立っているという実感できる場面をお一人おひとりに持ってもらうような働きかけをするよう努力しています。御自分で考える機会をつくり、積極的に食事・洗濯・掃除・入浴など基本的な生活に参加してもらえるよう働きかけをするよう努力しています。職員どうしの意見交換・情報の共有を重視し方向性を統一できるように努力しています。